

令和2年度 多自然川づくり近畿地方ブロック会議



永平寺門前の修景にあわせた河川整備

福井県 土木部 福井土木事務所 河川砂防課
重矢 智美

永平寺町 概要

永平寺町は、福井県の北部に位置し、人口約18,900名、面積94.43km²規模の自然豊かな町です。地域の中央部には福井県最大の河川である九頭竜川が流れています。九頭竜川は「母なる川」として、古くから酒造りや繊維産業に発展をもたらし、また、夏には、鮎釣りに、冬には幻の魚、サクラマスを始め全国からの釣り客でにぎわいを見せています。



九頭竜川



特産品



永平寺川

大本山永平寺について

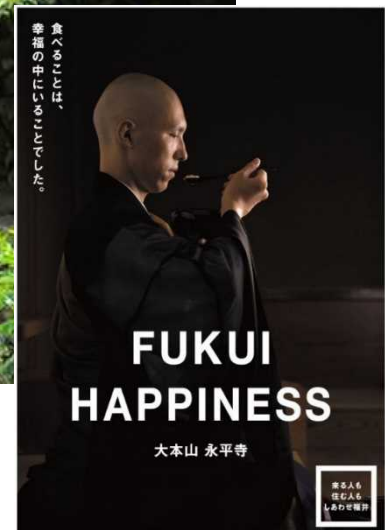
大本山永平寺は、寛元2年、中国で仏の教えを体得した道元禅師によって出家参禅の道場として開創されました。現在も約170名の修行僧が、早朝の起床にはじまり、勤行、坐禅、行鉢、作務など、厳しい修行に励んでいます。また、写経や、坐禅、宿泊など修行僧と同様の生活を体験することもできます。



永平寺町
イメージキャラクター
えい坊くん



大燈籠流し



永平寺門前再構築プロジェクト

1 目 的

北陸新幹線の2022年度末福井開業等を控え、国内外での知名度が高く、県を代表する観光地である永平寺において、外国人観光客にも対応できる宿泊施設整備を核として、旧参道の再生、永平寺川の改修などを一体的に行い、大本山永平寺、永平寺町、県が協力・連携して、凜とした禅の心を体感できる環境を整える。

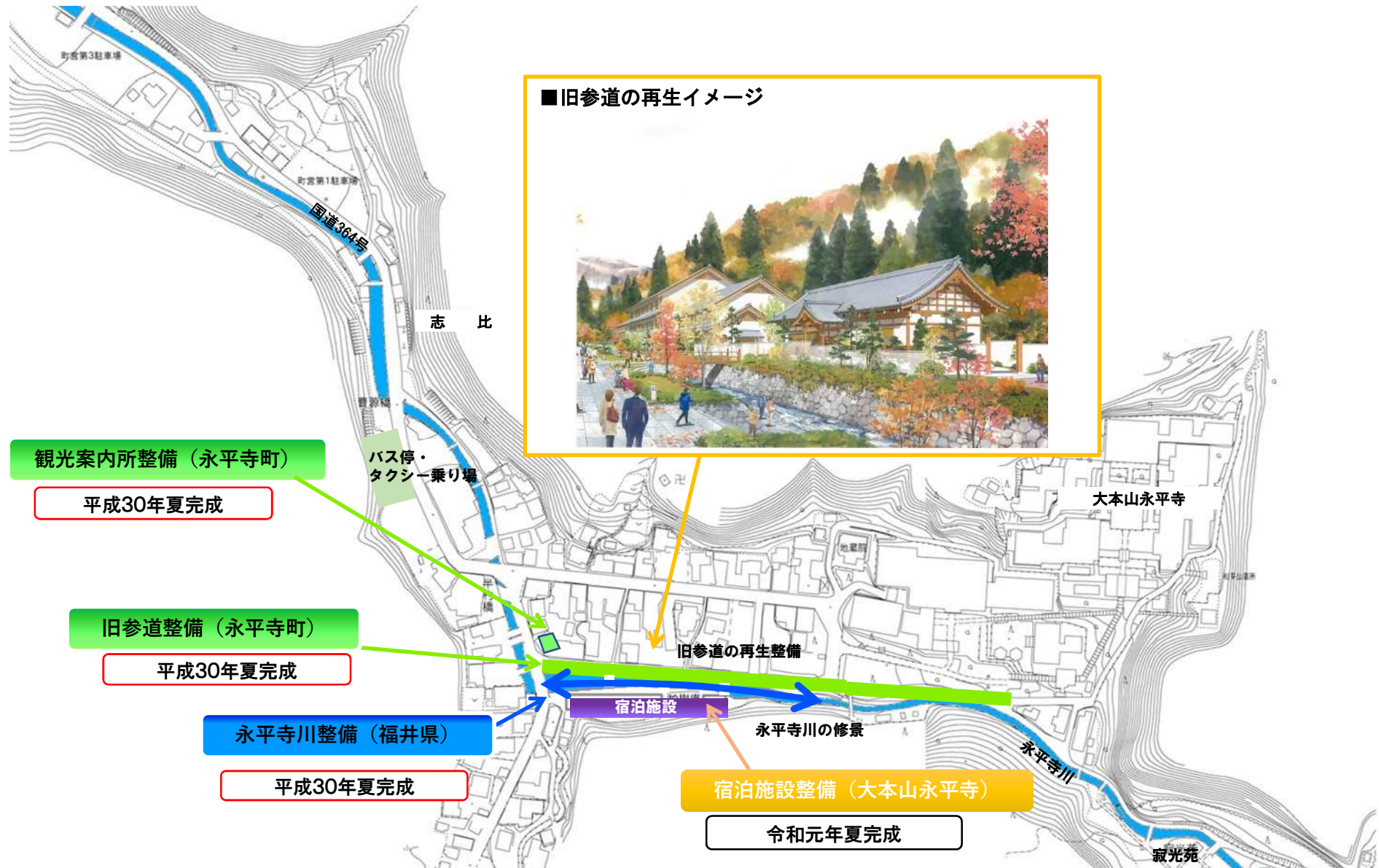
※永平寺への参拝者(観光客)は、団体行動から個人旅行への移行に伴い、ピーク時の141万人(平成元年)から47万人(平成26年)に減少(ピーク時の約3分の1)

2 経 緯

- H24.11 大本山永平寺と森ビル(株)とで「永平寺をめぐる環境の再構築を構想する『禅の里』事業」に関する基本協定を締結
- H26.10 宿泊施設の整備を大本山永平寺が、旧参道を永平寺町が、永平寺川整備を県が実施することを三者で合意し、現在の「永平寺門前の再構築プロジェクト」となる
- H27.6 永平寺町と森ビル(株)とで、「まちづくり基本協定」を締結
- H27～ 用地取得に着手 県が森ビル(株)へ修景監修の依頼
- H28～ 工事に着手
- H30 夏 旧参道(永平寺町)、永平寺川(福井県)の整備が完成
- R1 夏 宿泊施設(大本山永平寺)の整備が完成

↑
河川事業期間 4年
↓

永平寺門前再構築プロジェクト



永平寺門前再構築プロジェクト

3 整備内容

(1) 外国人観光客にも対応できる宿泊施設の整備

- ・早朝の坐禅など、本山の行事に参加しやすく、外国人観光客も安心して宿泊できる施設を整備
- ・宿泊施設整備への永平寺山内の木の活用や、精進料理の提供等により禅の心を体感

実施主体 **大本山永平寺**
事業費 約1,300百万円(用地費含む)(予定)
整備期間 平成27～令和元年度 令和元年夏 完成
整備内容 宿泊施設(地上3階) 延べ面積:約2,000㎡、部屋数:18室、収容人数:約72名

(2) 1600年代の古地図に基づく旧参道の再生

- ・1600年代の古地図に基づく永平寺川沿いの参道の復元
- ・参道の石畳化、無電柱化
- ・永平寺川沿いから歩いて参拝し、門前を歩いて帰る回遊ルートの確立

実施主体 **永平寺町**
事業費 約395百万円
整備期間 平成27～30年度 平成30年夏 完成
整備内容 参道を石畳化、無電柱化等 総延長 約360m (上部:延長約140m、幅5.0m、下部:延長約220m、幅5.5m)



(3) 旧参道との一体的な永平寺川の改修

- ・石積みや親水空間の創出により、自然を感じながら参道を散策できる永平寺川の整備

実施主体 **福井県**
事業費 約490百万円
整備期間 平成27～30年度 平成30年夏 完成
整備内容 護岸の石積み改修、親水空間の整備、橋梁の架け替え(延長約300m)

(4) ゲートウェイとなる観光案内所等の整備

- ・大本山永平寺や永平寺門前の案内はもとより、周辺観光地や県外の観光地とも結び付ける広域観光を推進

実施主体 **永平寺町**
事業費 約153百万円
整備期間 平成27～30年度 平成30年夏 完成
整備内容 観光案内、トイレ、バス停等の整備

永平寺への参拝者(観光客)

4 目 標 47万人(平成26年) → 52万人(令和元年) → 65万人(令和2年) → 80万人(令和7年)

(平成26年比 約1.4倍)

(平成26年比 約1.7倍)

福井県観光客入込数より

(1) 外国人観光客にも対応できる宿泊施設の整備（大本山永平寺施工）

- ・ 早朝の坐禅など、本山の行事に参加しやすく、外国人観光客も安心して宿泊できる施設を整備
- ・ 宿泊施設整備への永平寺山内の木の活用や、精進料理の提供等により禅の心を体感

着手前



施工状況



R元夏完成



宿泊施設



道場



客室



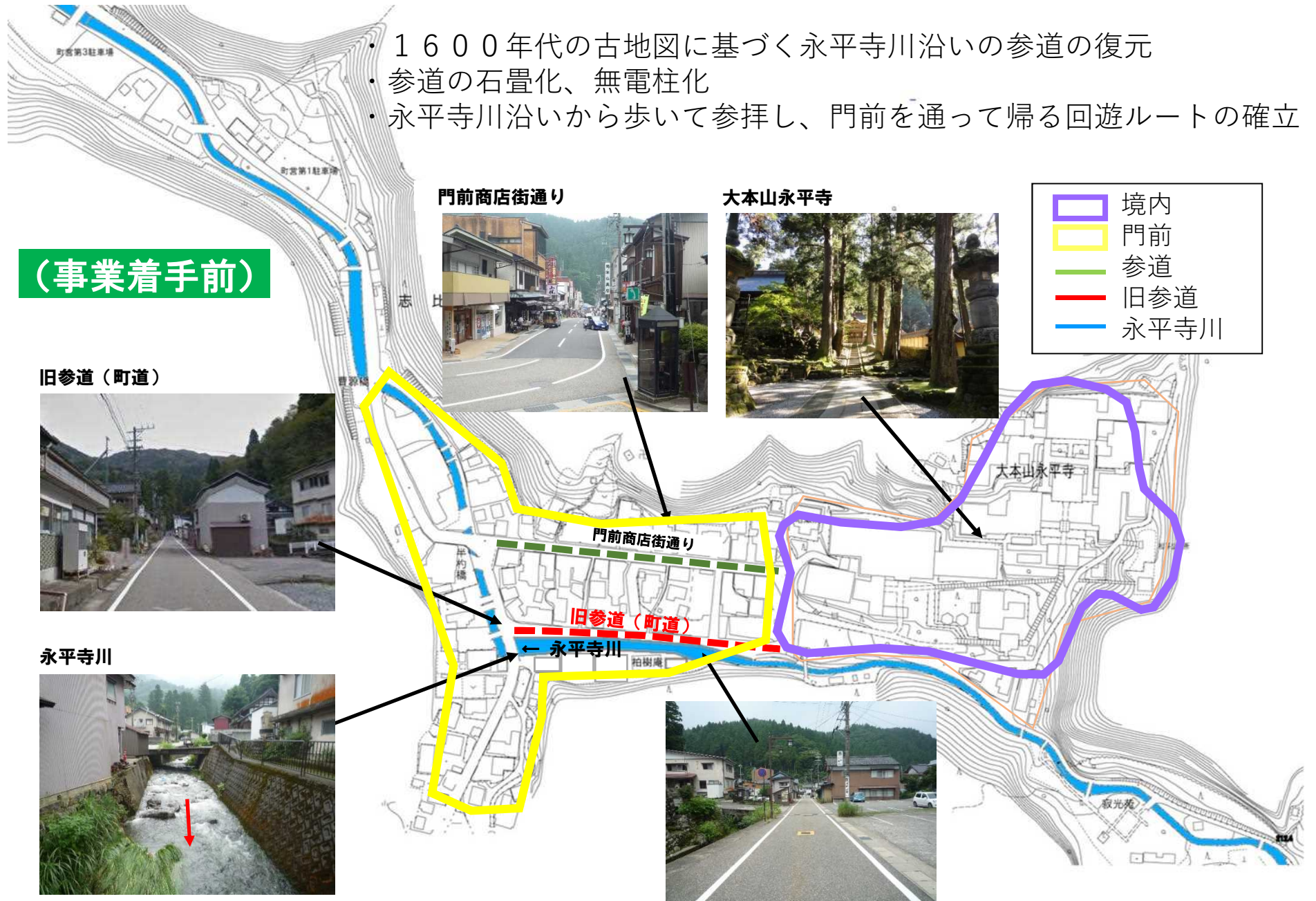
大浴場



建物	階数：3階建（1階：玄関棟+レストラン、2階：客室+大浴場、3階：客室） 特徴：玄関棟は永平寺杉を使った木造建築
客室	客室数：18室 客室タイプ・定員：和洋室（ベッド2台+畳スペース）、定員4名 面積：約40㎡ 設備：トイレ・洗面台・シャワーブース・クローゼット等 ※全客室より永平寺川を望む
大浴場	露天風呂付大浴場：男女各1箇所（入替予定なし） 洗い場：各8カ所

レストラン	席数：66席予定（テーブル席60席、カウンター席：6席） 個室：あり（1室、10名程度収容可能） 営業時間：未定（宿泊客向けの夕朝食に加え、昼食も提供予定） 提供メニュー：精進料理を中心に地元食材を活用した料理を提供予定
道場	坐禅スペース（お客さまが自由に利用可能） 各種イベントスペースとして活用
ショップ	大本山永平寺オリジナルグッズや門前土産店にない商品を品揃え
禅ライブ러리	禅に関する書物を用意し、お客さまに自由にご覧いただく
駐車場	あり（宿泊客は無料予定）

(2) 1600年代の古地図に基づく旧参道の再生（永平寺町施工）



- 1600年代の古地図に基づく永平寺川沿いの参道の復元
- 参道の石畳化、無電柱化
- 永平寺川沿いから歩いて参拝し、門前を通過して帰る回遊ルートの確立

(事業着手前)

旧参道（町道）



永平寺川



門前商店街通り

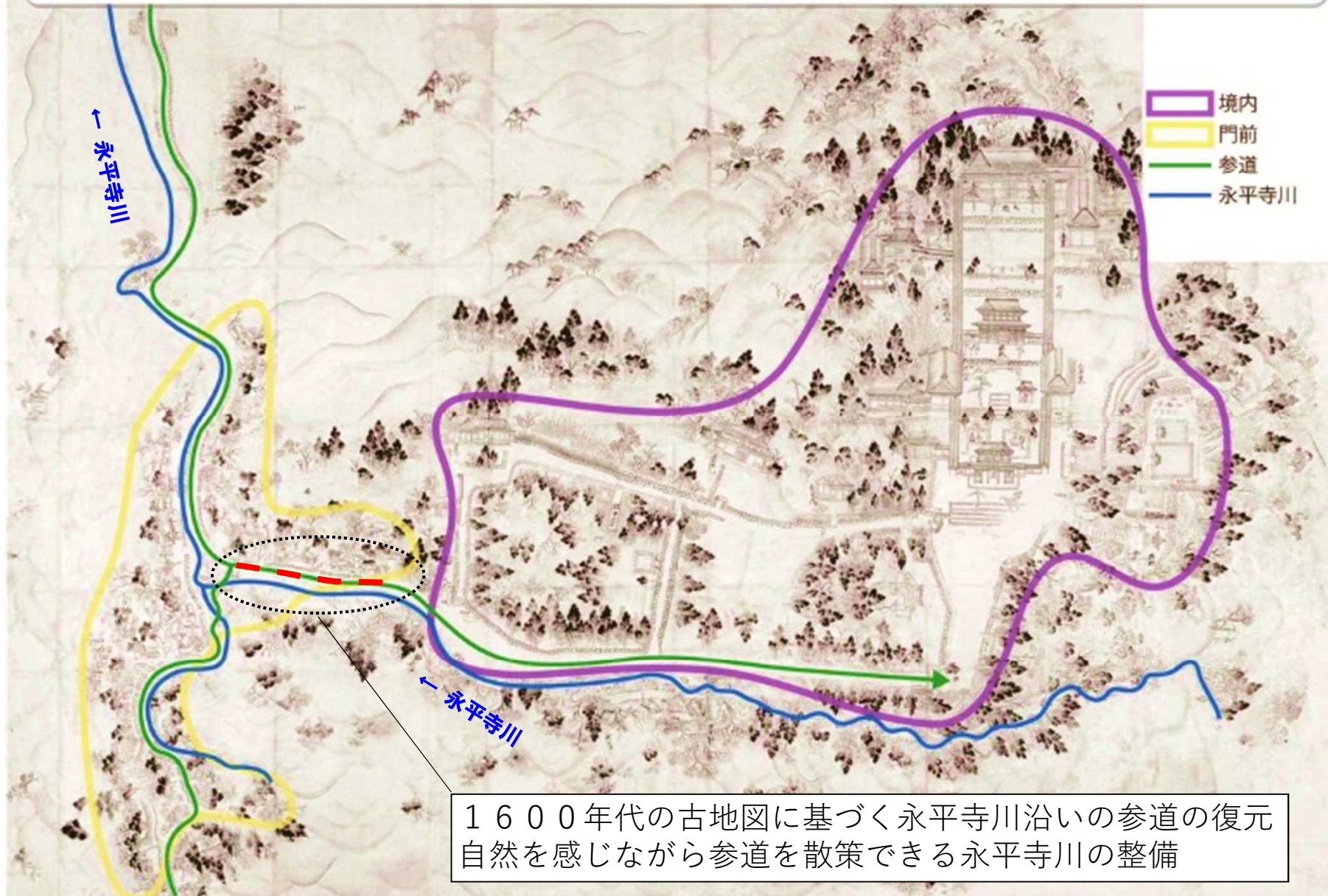


大本山永平寺



(2) 1600年代の古地図に基づく旧参道の再生（永平寺町施工）

古地図(1600年代)



(2) 1600年代の古地図に基づく旧参道の再生（永平寺町施工）

無電柱化



石畳



(3) 旧参道との一体的な永平寺川の改修 (福井県施工)

川づくりのコンセプト

計画を策定するにあたり、福井県立大学学長から提言をいただき、コンセプトを作成

溪流の河川景観形成

生活になじむ川

- ・ 参道と永平寺川との接点づくり
- ・ 生活文化の形を継承する (親水の間)
- ・ 参拝者を清める水 (清めの川)

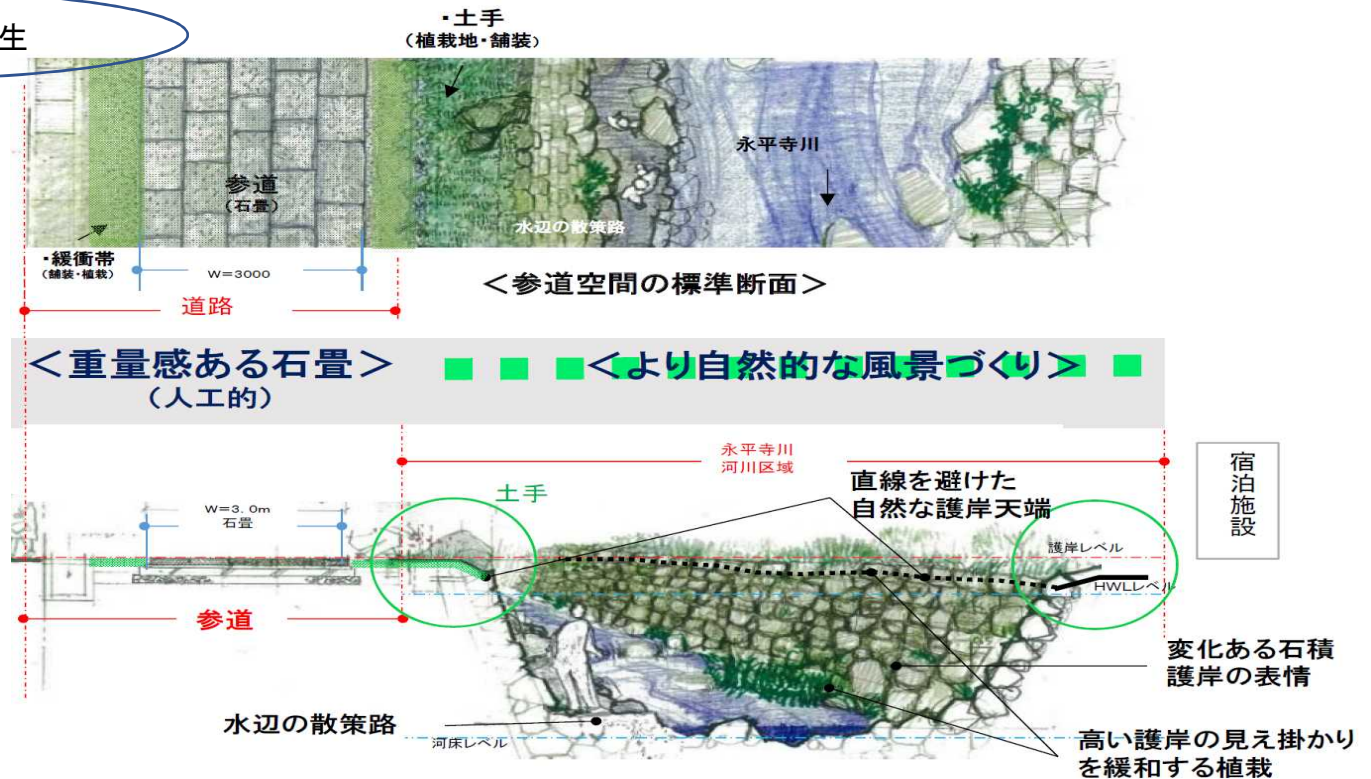
- ・ 静と動の流れを再生する
- ・ 発生石材活用で自然で単調にならない護岸

自然の営みにまかせた川の再生

- ・ 現状の流下能力を維持し、現在の流れの姿を再現する (滯筋・瀬・淵)

永平寺川の自然的環境の維持向上

- ・ 水生生物生息環境の再生



(3) 旧参道との一体的な永平寺川の改修 (福井県施工)

生活になじむ川

親水スペース

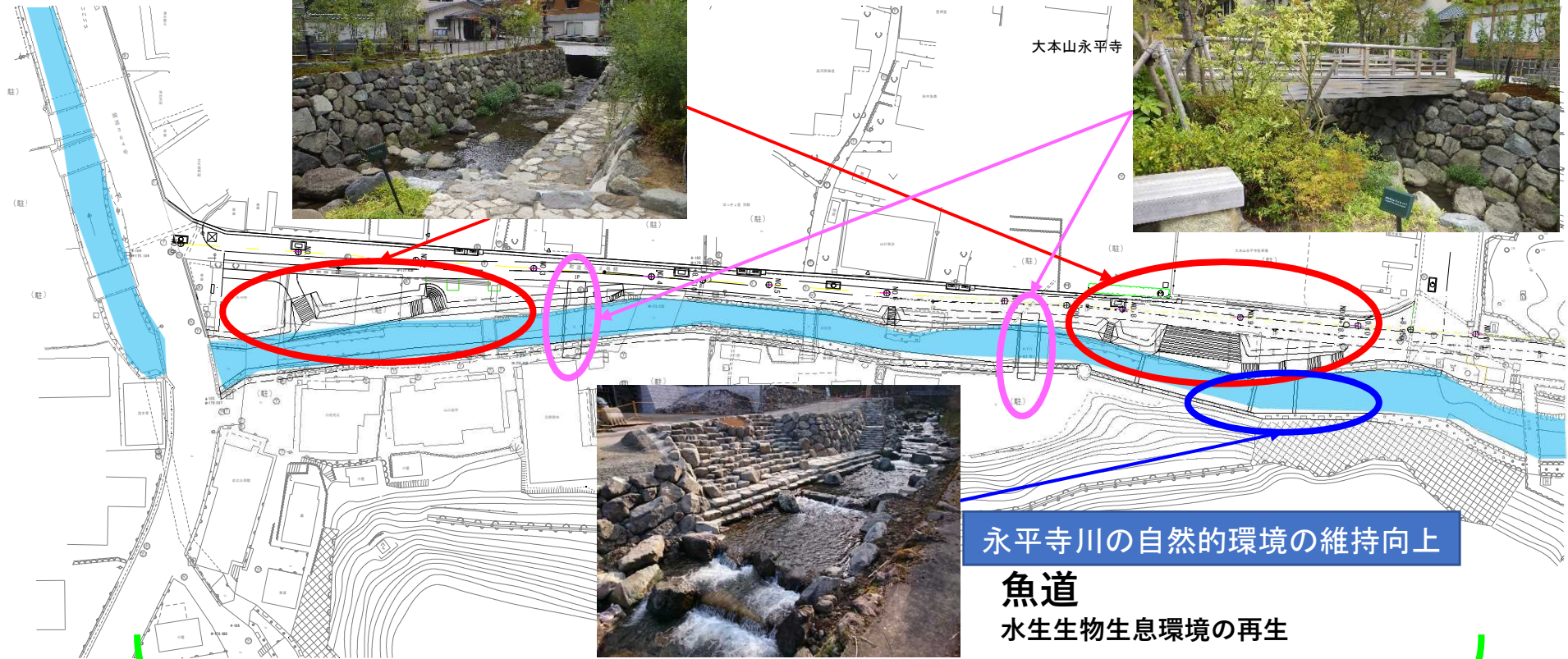
水辺に近づける場所を設け
親しみやすい護岸を創出



溪流の河川景観形成

橋梁

景観に溶け込むよう自然な色と素材利用
木造建築と調和するデザイン



永平寺川の自然的環境の維持向上

魚道

水生生物生息環境の再生

自然の営みにまかせた川の再生



石積

溪流の風情を取り戻す自然護岸
石積みに間隙を設け、植生の自生を促す

植生再生

高い護岸の見え掛かりを緩和する植生
護岸天端の植栽は宿泊施設・参道整備にて施工

(3) 旧参道との一体的な永平寺川の改修（福井県施工）

溪流の河川景観形成

修景監修の元、門前に合わせた石の選定
現地の石と県内の石を採用



シミュレーションで積み方の比較

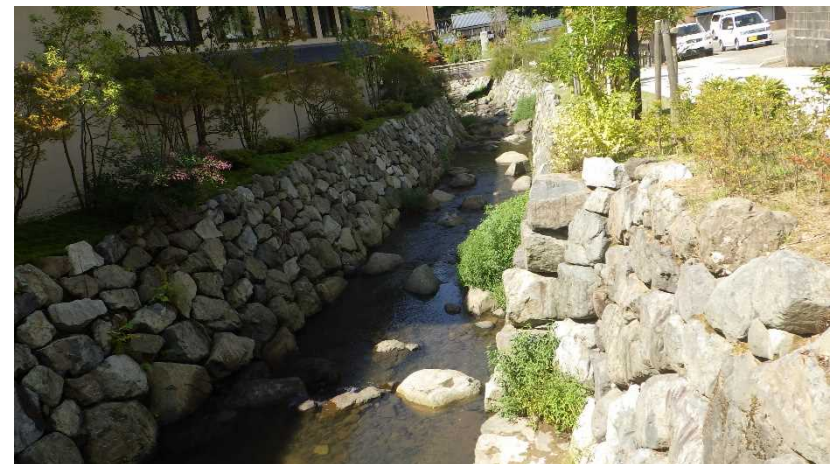


永平寺一带の景観に馴染む石積み

お寺や周辺の施設にあわせて、橋梁は高欄と桁隠しに木材を使用



護岸に植物を生やすことで石積の圧迫感を緩和
練石積施工時、洗い処理により空隙を設けている



(3) 旧参道との一体的な永平寺川の改修（福井県施工）

生活になじむ川

親水スペースを確保し誰でも水に触れる川に。
お清めの水、お寺や地域の祭事、野菜洗い場等に利用



(3) 旧参道との一体的な永平寺川の改修（福井県施工）

自然の営みにまかせた川の再生

現地にある石を記録し改修後も同じ位置に設置することで、元の川の面影や自然な落差工を復旧



永平寺川の自然的環境の維持向上

遡上を阻害していた落差工を取壊し、石で魚道を設置。魚が休憩できる日蔭づくり。



(4) ゲートウェイとなる観光案内所等の整備 (永平寺町施工)

・大本山永平寺や永平寺門前の案内はもとより、周辺観光地や県外の観光地とも結び付ける広域観光を推進

着手前



施工状況



完成



AIコンシェルジュ



多言語対応機能



休憩スペース



券売機



ATM



観光案内多言語 AIコンシェルジュ

観光案内所では国内初となるAIコンシェルジュを導入、日本語の他、英語、中国語に対応しており、観光客の問いかけに音声や画像・文字で答える、永平寺や観光スポット、飲食店や土産物屋などの詳細な情報を提供しています。

ご清聴ありがとうございました

